

令和8年度 第1回益田市商工業振興会議 報告

1日時 令和8年8月19日(水) 16:00~17:00

2場所 益田商工会議所3階 会議室

3目的 条例理念の「中小企業・小規模企業者による地域資源を活用した新たな挑戦を地域社会全体で支援し、雇用の拡充や交流人口・定住人口の拡大を図り、もって持続可能な社会を実現」を目指す。

4参加者 委員5名 島根県商工労働部商工振興課デジタル推進室 事務局

5議事

1. 意見交換

(1) 島根県立職業能力短期大学校の設立及び地域産業の活性化について
島根県では、県西部でのIT人材の育成と雇用の創出が必要であると考えている。

島根県および、益田市から取り組みの状況の紹介。

県立短期大学校を地域経済の活性化の機会、機運醸成に向けた意見交換を実施。

【委員等からの意見】

- ・商工会議所においても、デジタル活用の研修会の開催を予定しており、地域全体で取組みを進めていくべきであり、短期大学校のカリキュラム等随時情報提供いただきたい。
- ・ITの技術を身に付けても、就職先がないという課題感がある。就職することに限定せず、益田市が力を入れている創業という選択肢を作るなど、IT人材が活躍できる仕組みづくりが必要なのではないか。
- ・魅力的な授業や教授に人が集まる傾向があると考え。カリキュラムについては、誰が何を教えるのかまた、こういった人材を育てるのか検討を重ねてほしい。
- ・益田市に限った取り組みなのか。益田市に限らず、県西部で連携してIT人材の受け皿となる企業を作っていくべきでは。

(2) 物価高騰の影響・金利上昇の影響

各委員から、現在の物価高騰、人材確保、融資の状況等について説明。

【物価高騰について】

- ・価格転嫁に継続的に取り組んでいるが、ナフサショックの影響もあり、価格転嫁をする為の商品を作れない状況が続いている。
- ・設備投資を補助金等を活用しながら、行っているが値上げや品不足の課題は深刻。申請したが見積額の上昇や納期の遅れによる事業期間の超過等不安がある。
- ・中山間地域は、農林業が中心で設備投資関連の補助金の活用は難しい。ランニングコストについては厳しい状況の為、利子補給等活用したい。

【人材確保の状況】

- ・雇用に関する相談は、専門家派遣を活用し状況に応じてタイミー等で募集をかける場合がある。

- ・人が足りていないが、経営状況の厳しさから人件費を賄えず、雇用を諦める事業者がある。
- ・募集しても、人が集まらない。

【融資の状況】

- ・県融資制度については、利率据え置き状態で来ている為、借り換えは比較的スムーズに進んでいるが、日本政策金融公庫の金利については上昇が続いている。借り換えのハードルになっている。

【委員等からの意見】

- ・正社員として、いきなり採用というのはハードルが高いと感じるのが最近の傾向ではないか。アルバイトや簡単な作業から始めて時間をかけて、社員を雇用する方法も検討すべきではないか。
- ・地域の人事部という制度の導入を検討してみてもは。

(3) 創業支援について

【情報提供】

- ・創業ワンストップの取り組み状況について
令和7年度NALU創業ワンストップの実績について事務局から説明。